

# 1 「世界を知る」講座—今なぜ異文化理解なのか 全5回

混迷を深めるイギリスとEU，2020年以降のアメリカの安全保障政策，日本を取り巻く国際情勢はかつてないほど激しく動いています。

講座の前半ではアメリカ人が日本人をどう捉えているのかについても触れながら，今後の日米と日欧関係を考えます。後半ではインドと日本の文化の違いについて，その具体的な事例を踏まえながら考察します。そして最後に，第二次世界大戦下の南太平洋で実際に起きた事件をめぐって異文化を理解することの難しさを考えます。

本講座では日本，イギリス，アメリカ，インド，南太平洋の地域を取り上げ，社会科学的・人文科学的視座から異文化を理解することが可能なのか考えます。

(講義はすべて日本語で行います)

■時 間 14:00～15:30

■会 場 小松市民センター

■定 員 50名

■受講料 2,500円

■教材費 500円

回	日程	内 容	講 師	キャンパス
1	6・20 (土)	インドと日本の文化の違い	公立小松大学准教授 塩谷 マクスーダ	小松市民センター セミナールーム
2	7・4 (土)	アメリカ人から見た日本・日本語・日本人	公立小松大学教授 ティモシー・バンス	小松市民センター 小ホール
3	7・12 (日)	第二次世界大戦下，南太平洋の孤島で「ハンセン病者集団虐殺事件」はなぜ起きたのか	公立小松大学教授 岡村 徹	小松市民センター セミナールーム
4	7・18 (土)	イギリスはどこに向かうのか	金沢大学専任講師 岡本 宜高	
5	7・19 (日)	アメリカ大統領選挙と安全保障	福井県立大学教授 島田 洋一	

◆第5回[7月19日(日)]は国際情勢により日程が変更になる場合があります。